

ポスター発表 (学生会員の部)

会場：P2 会場 (国際ホール)

講演番号

- P042 セイヨウミツバチ *Apis mellifera* における DNA メチル化 の解析
○石井進之輔¹・及川洋平²・川上知泰²・池田隆³・佐々木哲彦⁴
(玉川大・農学研究科¹・玉川大・農学部²・国際医療研³・玉川大・ミツバチ科学⁴)
- P043 タンパク質をコードする核遺伝子による有翅昆虫類の系統関係の解明
○石渡啓介¹, ²・宮田隆²・蘇智慧^{1, 2} (阪大院理¹・JT 生命誌研究館²)
- P044 エクジソン生合成に関わる新規酵素遺伝子の同定
○塩谷天¹・島田 (丹羽) 裕子¹・篠田徹郎²・丹羽隆介¹ (筑波大院・生命環境¹・農生研・昆虫科学²)
- P045 キイロショウジョウバエにおける発育期間と概日リズムの遺伝相関：選抜実験、ゲノムワイドスクリーニング、RNA 干渉法による検証
○寺村皓平¹・高橋一男²・岡田泰和¹・宮竹貴久¹ (岡山大・院環境¹・岡山大・異分野融合コア²)
- P046 タンパク質をコードする複数の核遺伝子による多足亜門の系統関係の解明
○宮澤秀幸 (阪大・院理)
- P047 繁殖干渉がミナミアオカメムシとアオクサカメムシの分布に与える影響
○守屋伸生・藤崎憲治 (京大院・農・昆虫生態)
- P048 シカの採食がジャコウアゲハの新葉利用性に与える正の間接効果
○高木俊¹・宮下直 (東大院・農)
- P049 水田の多様な生物の機能-7：マルタニシガイネの生育に及ぼす影響
○佐藤慎太郎・佐藤智・安田弘法 (山形大・農)
- P050 卵塊サイズの種内変異をもたらす天敵の圧力とその作用様式
○中嶋祐二・松枝敦夫・藤崎憲治 (京大院・農・昆虫生態)
- P051 インゲン品種によって生存率の異なるタバココナジラミバイオタイプ B：死亡時期とその要因
○宮入萌¹・竹林大介²・飯田博之³・本多健一郎³・西東力¹・田上陽介¹ (静大農・応用昆虫¹・岐阜連大農・応用昆虫²・野茶研³)

- P052 水田の多様な生物の機能-6：コナギが水田の節足動物の発生に及ぼす影響
○渡邊浩介・佐藤智・佐々木雄悟・佐藤慎太郎・安田弘法（山形大・農）
- P053 キイロテントウによるうどんこ病菌の摂食生態
○勝山祐子（静岡大・農）
- P054 ハラヒシバツタにおける斑紋の遺伝様式
○姫野孝彰¹・鶴井香織²・西田隆義³（京大・農・昆虫生態¹・弘前大・男女共同参画²・滋賀県大・環境生態³）
- P055 繁殖干渉はアリー効果を起こすか？：マメゾウムシでの検証
○京極大助¹・西田隆義²（京都大・農・昆虫生態¹・滋賀県大・環境生態²）
- P056 フタテンチビヨコバイの産卵選好性とゴール形成の適応的意義
○神代瞬¹・松倉啓一郎²・松村正哉²・徳田誠³（九州大学¹・九州沖縄農研²・九大・高推セ³）
- P057 ホソオチョウがジャコウアゲハに与える寄主植物を介した負の効果
○橋本洸哉・大串隆之（京都大・生態学研究センター）
- P058 ナガチャコガネの地域間・個体群内の間接飛翔筋二型に関する遺伝子解析
○江頭桃子¹・多田茂男²・日本典秀³・西東力¹・田上陽介¹（静岡大・農¹・函館西高²・生物研³）
- P059 草原の状態の違いと都市から山地にかける周囲の景観の違いが草原性節足動物群集に与える影響
○弘中豊・小池文人（横浜国大・環境情報学府）
- P060 ジェネラリストとスペシャリストの捕食性テントウムシにおける非対称な繁殖干渉
○鈴木紀之¹・大澤直哉²・西田隆義³（京大・農・昆虫生態¹・京大・農・森林生態²・滋賀県大・環境生態³）
- P061 柑橘類の果樹園におけるアリ群集：北部ベトナムでの一例
○Le NgocAnh（九大熱研セ）
- P062 アンブロシアゴール形成タマバエにおける共生菌の水平伝播
○小舟瞬¹・梶村恒¹・升屋勇人²（名大院生命農¹・森林総研²）

- P063 東南アジア産アリ植物を巡る共生系および共生アリの系統学的再検討
○小松貴 1・上田昇平 1・片岡陽介 1・市野隆雄 1・清水加耶 2・市岡孝朗 2・乾陽子 3
(信州大・理 1・京大院・人環 2・大阪教育大・教養 3)
- P064 ミナミアオカメムシの高温障害：高温による共生細菌の減少が要因！？
○多田明世 1・菊池義智 2・DmitryMusolin 3・細川貴弘 2・深津武馬 2・藤崎憲治 1
(京大院・農・昆虫生態 1・産総研・生物プロセス 2・St. Peterburg State Univ. 3)
- P065 クヌギカメムシ類に存在する *Sodalis* 様共生細菌
○貝和菜穂美 1, 2・細川貴弘 2・菊池義智 2・深津武馬 2 (東大・総合文化 1・産総研・生物プロセス 2)
- P066 腸内共生微生物がシロアリに木を食べさせている
○山本結花・松浦健二 (岡大院・環境・昆虫生態)
- P067 3 系統の *Wolbachia* に感染しているチャハマキにおける細胞質不和合と *Wolbachia* の母系伝播効率
○秋月直也・仲井まどか・平尾綾子・国見裕久 (農工大院・農)
- P068 ツマグロヨコバイの共生器官で特異的に発現する PGRP 遺伝子
○富澤真 1, 2・野田博明 1, 2 (東大院・先端生命 1・生物研 2)
- P069 シジミチョウ科 3 種における *Wolbachia* の感染について
○角拓人 1・三浦一芸 2・宮竹貴久 1 (岡山大・進化生態 1・近中四農研セ 2)
- P070 野外採集したカスリショウジョウバエに感染するスピロプラズマの不完全な垂直伝播
○大坂龍 1・和多田正義 2・陰山大輔 3・野村昌史 1 (千大院・応昆 1・愛媛大・動物遺伝 2・生物研・昆虫微生物 3)
- P071 チャハマキにおける新たな性比異常系統の原因因子の同定と系統解析
○柘野優輔 (農工大院・農)
- P072 非社会性昆虫ニホンホホビロコメツキモドキは酵母と栽培共生しているのか？
○土岐和多瑠 1・棚橋薫彦 2・深津武馬 2・富樫一巳 1 (東京大院・農学生命科学 1・産総研 2)
- P073 野外におけるアブラムシ寄生性タマバエ *Endaphis muraii* の発生調査
○浜口唯衣 (宇都宮大・農・応用昆虫)
- P074 ハマキサムライコマユバチの繁殖生態に及ぼす宿主の影響
○岡崎愛・水野雄現・平尾綾子・仲井まどか・国見裕久 (農工大院・農)

- P075 シキミタマバエ (ハエ目:タマバエ科) の捕食寄生蜂相
○藤井智久¹・松尾和典²・小舟瞬³・湯川淳一⁴・桐谷圭治⁵・阿部芳久¹・徳田誠⁶
(九大院・比文¹・九大院・生資環²・名大院・生命農³・九大⁴・伊東市⁵・九大・高推セ⁶)
- P076 3種ハモグリバエにおける *Halticoptera circulus* の発育日数
○剣持太一・田上陽介・西東力 (静大農・応用昆虫)
- P077 フタモンクサカゲロウ幼虫の同種または他種クサカゲロウに対する捕食行動
○宮崎祐太・野村昌史・長泰行 (千葉大・院園・応用昆虫)
- P078 Egg Size Variation in a Pupa Parasitoid: the Effect of Nutrition State and Body Size of females
○劉宏岳・上野高敏 (九州大・生防研)
- P079 捕食実験によるゲンジボタル幼虫の野外環境下における捕食者の推定
○河田草一・中村圭司 (岡山理科大)
- P080 クワゴヤドリバエ *Exorista sorbillans* の寄主探索行動における β -ocimene の役割
○田中彩¹・戒能洋一¹・田端純²・杉江元²・中村達³・一木良子³ (筑波大院¹・農環研²・国際農研³)
- P081 異なる波長の光に対するタバココナジラミの行動反応の解析
○小崎あかね・矢野栄二 (近畿大・農)
- P082 自切するのは誰だ? -コバネイナゴの体サイズと自切行動
○鶴井香織¹・本間淳²・若宮慧³・姫野孝彰³・西田隆義⁴
(弘前大・男女共同参画¹・総研大・先導研²・京大農・昆虫生態³・滋賀県大・環境生態⁴)
- P083 アメンボのオス成虫の実効性比認識方法に関する行動学的解析
○松枝敦夫・藤崎憲治 (京大院・農・昆虫生態)
- P084 クサカゲロウ幼虫の乗せるアブラムシ死体のアリに対する防御効果
○林正幸・長泰行・野村昌史 (千葉大・応用昆虫)
- P085 各種LED光源に対するミカンキイロアザミウマの光応答反応
○祖父江順・村井保 (宇都宮大・農・応昆)
- P086 巣を持たないイチにおける、雄の帰還行動および長期記憶について
○谷聡一郎・上野高敏 (九大院生防研)

- P087 タバコシバンムシの黒色型の遺伝様式と生活史形質
○大前雄介¹・澁側太郎²・佐々木力也³・宮竹貴久²・篠田一孝³・岡田賢祐²
(岡大・農・動物集団生態¹・岡大院・環境・進化生態²・富士フレイバー(株)³)
- P088 捕食者による巣の中の幼虫の選択：フタモンアシナガバチにおける同種他巣の幼虫捕食
○古市生・粕谷英一(九大・生態研)
- P089 シロヘリクチブトカメムシ幼虫の捕食集団形成における匂いの役割
○兵働大輔・藤崎憲治(京大院・農・昆虫生態)
- P090 ヤマトシロアリの水中溶存酸素利用能力
○末廣亘・松浦健二(岡山大・農・昆虫生態)
- P091 感染源との遭遇がアリにもたらす効果
○奥野正樹・藤崎憲治(京大院・農・昆虫生態)
- P092 寄生蜂の寄主探索における事前感覚経験の重要性
○北野伸雄・馬場成実・上野高敏(九大院・生防研)
- P093 ベニツチカメムシの胚は共生細菌と振動のどちらの刺激で孵化するか？
○向井裕美¹・弘中満太郎²・細川貴弘³・藤條純夫¹・野間口真太郎¹(佐賀大・農¹・浜松医大・生物²・産総研・ゲノムファクトリー³)
- P094 歩行中の蛾類の行動解析システムの開発
○手嶋伸¹・佐久間正幸¹・小野知洋²(京大院農・昆虫生理¹・金城学院大²)
- P095 水田の主要寄生蜂アオムシヒラタヒメバチの性フェロモンとその分泌時期の影響を受ける交尾時期
○板谷弘樹・上野高敏(九大院・生防研)
- P096 昆虫由来の誘引物質に対する *Caenorhabditis japonica* 耐久型幼虫の反応の違い
○奥村悦子¹(佐賀大学農学部線虫学研究室¹・京大大学生態学研究センター²)
- P097 ナミテントウの餌認識
○水田 尋子・西東力・田上陽介(静岡大学・農)
- P098 社会寄生種チャイロスズメバチと2種のホストとの警報フェロモン成分とその認識に関する研究
○松山日名子・小野正人(玉川大・農・昆虫機能)

- P099 食塩の摂取がミツバチへ与える影響
○齋藤佳奈1・本田洋2・周宇林2・木村澄3・屋紀子3・芳山三喜雄3（筑波大・生物資源1・筑波大院・生命環境2・畜草研・みつばちG3）
- P100 嗅覚学習は匂い源定位歩行行動にどのように影響するのか？
○木村勇太1・入山修至1・伊東綱男1・HauptS. Shuichi2・神崎亮平2・藍浩之1（福岡大・理・地球圏1・東大・先端研2）
- P101 ミツバチの匂いコミュニケーション—蜜源の匂い情報は巣仲間どのように伝達されるのか？—
藍浩之・○内山絵美子（福岡大・理・地球圏）
- P102 ミツバチは花蜜の糖組成を認識して貯蜜への酵素添加行動を調節するのか
○仲田諒・中村純（玉川大・ミツバチ科学）
- P103 交配用ミツバチからみたハウス栽培イチゴの資源的有用性
○下田和秀1・佐々木正己1,2・中村純2（玉川大・農1・玉川大・ミツバチ科学2）
- P104 ミツバチの分業、太陽コンパス、CCD の関係
○ナズニンナハール1・伊澤憲満1・竹田真木生1・北尾一真2・大谷剛2（神戸大学・農・院1・兵庫県大2）
- P105 自然条件下におけるトビロケアリのコロニー成長に及ぼす温度の影響
○黒木出・太田晃平・中村圭司（岡山理科大）
- P106 ニセタマナヤガの生活史および各種農薬の感受性に関する研究
○王コウファ1・野村昌史1・栗原潤2（千葉大・院・応用昆虫1・長野・野菜花き試2）
- P107 過変態昆虫マメハンミョウの擬蛹休眠が終了する条件
○寺尾美里・廣瀬譲・新谷喜紀（南九州大院・園芸昆虫）
- P108 トビロウソウから同定されたプロトン-トレハロースシンポーター N1S8 は生体内の恒常性の維持に關与する
○菊田真吾1, 2, 3・萩原優香2・黄川田隆洋2・野田博明1, 2（東大院・新領域1・生物研2・JSPS3）
- P109 ダールマンツヤクワガタ幼虫の多糖類分解酵素系と腸内細菌相
○三島達也1・岩田隆太郎1・和田典子2・安齋寛2（日大・生物資源1・日大・短生2）
- P110 ブドウトラカミキリにおけるセクロピン遺伝子の発現と分子種同定
○小倉安海・星野啓太・岩淵喜久男（農工大 応用昆虫）

- P111 モンシロチョウ *Pierisin-1* の抗菌作用とその発現誘導機構
○堀内悠 1・中口 (高橋) 梓 2・坂待奈央 3・戸塚ゆ加里 3・岩淵喜久男 1・布芝達男 3・杉村隆 2・若林敬二 2 (農工大 応用昆虫 1・国立がん研究センター 2・国際基督教大学 3)
- P112 海浜性甲虫ハマベゾウムシ (コウチュウ目ゾウムシ科) の遺伝的多様性について
○工藤雄太 1・小島弘昭 1・吉武啓 2・馬場友希 2・小林憲生 3 (東京農大・昆虫 1・農環研 2・北大・総博 3)
- P113 ニホンミツバチ脳における熱殺蜂球形形成行動時の興奮領域の解析
○宇賀神篤 1・木矢剛智 2・國枝武和 1・小野正人 3・吉田忠晴 4・久保健雄 1
(東大・院理・生物科学 1・金沢大・院自然・生物科学 2・玉川大・農・昆虫機能 3・玉川大・ミツバチ科学 4)
- P114 多胚性寄生蜂キンウワバトビコバチの寄主胚子侵入行動における分子動態解析
○井上普・岩淵喜久男 (農工大・農・応用昆虫)
- P115 Monitoring of bifenthrin resistant two-spotted spider mite, *Tetranychus urticae* using molecular detection method
○Shin Youn-Ho・Koo Hyun-Na・Yoon Changmann・Kim Gil-Hah (忠北大 學校)
- P116 クサグモの幼体脱皮に関わる核内受容体の発現解析
○本多佳子 1・荻原麻理 2・TaylorDeMar 1 (筑波大院・生命環境 1・東大院・新領域 2)
- P117 マダニの抗菌ペプチド遺伝子の転写制御
○坪川理美 1・荻原麻理 2・中島由郎 1・田中博光 3・TaylorDeMar 1 (筑波大・生命環境 1・東大 2・筑波大・生物研 3)
- P118 キャベツ—モンシロチョウ—アオムシコマユバチの 3 者系に及ぼすコナガ食害の影響
○山本正樹・上船雅義・高林純示 (京大・生態研)
- P119 ヤマトシジミ幼虫とアリ類のゆるやかな共生関係
○鳴神 亮・川井遥・乾陽子 (大阪教育大・教養)
- P120 3種の異なるアリ種に随伴されたヤノクチナガオオアブラムシのCHC組成の比較
○遠藤真太郎 1・市野隆雄 2 (信州大院・総工・山岳 1・信州大・理 2)
- P121 ダイズアブラムシの好きなダイズと嫌いなダイズ
○小林政文・村井保 (農工大連大・生物制御)

- P122 ミナミキイロアザミウマの合成ピレスロイド剤抵抗性機構について(II)
○包文学 1・伊藤政雄 2・村井保 3・奈良井祐隆 4・園田昌司 5 (岡山大・植物研 1・高知農技セ 2・宇都宮大・応昆 3・島根農技セ 4・岡山大・植物研 5)
- P123 寄生蜂 *Leptomastidea abnormis* の 2 種のコナカイガラムシに対する寄主・寄主サイズ選好性
○土田祐大 1・安部淳 1・金子修治 2・西東力 1・田上陽介 1 (静大農・応用昆虫 1・静岡県果樹研セ 2)
- P124 マメハモグリバエの採卵法と幼虫の飼育法
○溝口大輝・田上陽介・西東力 (静大農・応用昆虫)
- P125 異なる有機質資材がホウレンソウケナガコナダニの増殖・誘引に与える影響
○生出裕美子 1・天野洋 2 (京大・農・生態情報 1・京大院・農・生態情報 2)
- P126 コナジラミ類の人工飼料による飼育法の開発①～産卵条件の検討～
○竹林大介 1・宮入萌 2・西東力 2・田上陽介 2 (岐阜連大・農 1・静岡大・農 2)
- P127 メダカナガカメムシの発生活長と繁殖行動の季節変動
○洲崎雄 1・小泉潮 2, 3・宮竹貴久 1, 2 (岡大院・環境・進化 1・岡大・農 2・山陽新聞 3)
- P128 GP 法による *Bacillus thuringiensis* の系統学的関係の再考 II
○小田尚幸・畠山吉則・岩野秀俊 (日大生物資源応昆研)
- P129 *Thrips parvispinus* のトスポウイルス媒介性
○佐久間恵美・村井保 (宇大・農・応昆)
- P130 ワサビ田のスジグロシロチョウに発生する寄生菌
○渥美絢子・田上陽介・西東力 (静大農・応用昆虫)
- P131 イモゾウムシ病原性原虫の宿主個体内における感染増殖様式
○新見はるか 1・鶴田幸成 2・青木智佐 2・原口大 3・飯山和弘 2・清水進 2 (九大農 1・九大院農 2・沖縄県病害虫防技セ 3)
- P132 *Metarhizium* 属糸状菌の系統解析と病原性比較
○西大海 1・飯山和弘 2・青木智佐 2・清水進 2 (九大院生資環 1・九大院農 2)
- P133 量子ビーム照射による昆虫病原糸状菌の殺菌剤耐性変異体の作出
○篠原忍 1・佐藤勝也 2・鳴海一成 2・田上陽介 1・西東力 1 (静大農 1・原子力機構 2)

- P134 マイマイガ防除における昆虫病原微生物の利用
○佐野朋也・仲井まどか・平尾綾子・国見裕久（農工大院・農）
- P135 露地ナスおよび雑草におけるヒメハナカメムシ類の発生密度と種構成の季節的変動
○大門聖1・安達鉄矢2・柴尾学2・矢野栄二1（近畿大・農1・大阪環農水総研2）
- P136 ワタアブラムシ甘露に対する在来系統シヨクガタマバエの誘引行動
○渡部宏（近大院・農）
- P137 野外雑草におけるテントウムシ類種構成と優占種の変化
○中渡瀬史旭・大野和朗（宮崎大学 農学部）
- P138 在来シヨクガタマバエの長期保存と蔵卵数
○山根雅史・野田貴子・矢野栄二（近大院・農・昆虫生態制御）
- P139 飛ばないナミテントウの歩行活動量の測定
○安藤彰太郎1・中山慧1・湊側太郎1・宮竹貴久1・高月淳一2・世古智一3・三浦一芸3
（岡山大院環境1・東洋産業2・近畿中国四国農業研究センター3）
- P140 *Aphelinus varipes* の増殖能力
○八島圭佑1・村井保1・栗原智2（農工大連大・生物制御1・宇大農・応昆2）
- P141 Role of the cannibalistic habit and relative humidity in storage of the predator mite *Neoseiulus californicus* (Acari: Phytoseiidae)
○Nourelidin Ghazy1・鈴木丈詞2・MaqsoodShah1・天野洋3・大山克己1, 4
（千葉大院・園芸1・千葉大・学振PD2・京大院・農・生態情報3・千葉大・環境健康フィールド科学センター4）
- P142 寄主加害トウモロコシから放出される揮発性物質の経時的変化とブランコヤドリバエの行動
○羽生和史1・戒能洋一1・一木良子2・中村達2（筑波大・生命環境1・国際農研2）
- P143 露地ナス栽培での土着天敵の活用：インセクタリープラントとしてのソバおよびソルゴーの有用性
○市川大輔・大野和朗（宮崎大・農）
- P144 レング圃場における導入天敵ヨーロッパトビチビアメバチの寄生率上昇戦略
○岩瀬俊一郎・中平賢吾・高木正見（九大・農・生防研）
- P145 光がハモグリバエ類の吸汁・産卵・羽化行動に与える影響
○渋谷和樹1・鈴木智尚1・堀雅敏1・増田俊雄2（東北大・院・農1・宮城県農園研2）

- P146 LED 照明技術を利用したハスモンヨトウの飛翔行動抑制効果
○尹丁梵 1・野村昌史 1・石倉聡 2・山下正仁 2 (千葉大院・園芸・応動昆 1・広島総研 2)
- P147 成分の異なる 2 タイプの交信かく乱剤によるタマナギンウワハミへの防除効果
○橋山葵 1・野村昌史 1・中牟田潔 1・栗原潤 2・豊嶋悟郎 2 (千葉大院・園芸 1・長野野菜花き試 2)
- P148 気候温暖化の捕食寄生者と寄主との相互作用に対する影響
○岸田彬・藤崎憲治 (京大院 昆虫生態)
- P149 *Wolbachia* 感染天敵製剤タイリクヒメハナカメムシの放飼が野外個体群の遺伝的多様性に及ぼす影響
○渡部真也 1・三浦一芸 1, 2 (広島大院・生物圏 1・近中四農研 2)
- P150 アカマツアトマルキクイムシ成虫の体内線虫相
○清水愛 1・神崎菜摘 2・岩田隆太郎 1 (日大生物資源 1・森林総研 2)
- P151 ネコブセンチュウの根内侵入におけるエンドグルカナーゼの重要性
○古賀一生・橋口円海・吉賀豊司 (佐賀大 農)
- P152 Developmental performance of *Tetranychus macfarlanei* at various temperatures
○ULLAH Mohammad1・HAQUE Mohammad1・KITASHIMA Yasuki1・GOTOH Tetsuo1
(Ibaraki Univ. 1)
- P153 ヒラタコクヌストモドキにおいて同種他個体の存在が食品香気の誘引性に与える影響
○青木由・堀雅敏 (東北大学院・生物制御)